

## 平成29年度事業計画書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

本財団は、公益財団法人への移行後5年目を迎え、定款に基づき下記の事業を積極的に推進して行く。

### 1. 学術研究助成事業

感染症の基礎的あるいは臨床的研究及び感染症に関する疫学的研究を行っている若手の個人を対象に、一般細菌感染症、ハンセン症、リケッチア症、寄生虫病などの研究課題に対して、公募により申請された研究計画を審査、選考の上、本年度は第44回目の学術研究助成金受贈者を決め、3月に贈呈する。

なお、平成29年度は助成金を200万円増額し、助成金総額を1,000万円（1件：100万円、10件）として予算計上する。

### 2. 顕彰事業

顕彰事業である次の各賞について、公募推薦された個人を審査、選考の上、表彰を行い当該事業における一層の拡充を図る。

#### (1) 平成29年度「第44回大山健康財団賞」

発展途上国において、長年医療協力に尽くし、特に感染症対策に尽力した医療関係者個人に対し、表彰状、メダル、副賞（100万円）を贈呈する。

#### (2) 平成29年度「大山激励賞」

大山健康財団賞に準ずる功績のあった医療関係者を対象とし、今後一層の活躍が期待される個人に対し、表彰状、副賞（50万円）を贈呈する。

### 3. 学術集会支援事業

予防医学、感染症（細菌、寄生虫）、特に発展途上国における感染症、顧みられない熱帯病等に関する学術集会について、公募により申請された学術集会を審査、選考の上、助成する。

ただし、助成総額は100万円（1件上限50万円、3件まで）とし予算計上する。

### 4. 年報作成

平成27年度の第42回大山健康財団賞受賞者および大山激励賞受賞者の紹介、並びに第42回学術研究助成金受贈者の業績報告集(年報 No.42)を作成することとし、30万円予算計上する。

### 5. 寄附金

国際医学研究会（慶應義塾大学医学部学生組織）の第40次派遣団の下記の活動に寄附をすることとし、30万円予算計上する。

同研究会は、1978年より毎年南米を中心に世界各地に医学生を派遣し、「医の原点の実体験」および「医学医療を通じた国際交流」、「活動を通じた現地への貢献」を基本指針とし、国際医療活動を行っている。

### 6. 公益法人用会計ソフトの運用開始

会計処理については、これまで本財団手作りの会計ソフトで運用してきたが、会計処理の効率化、明確化を図るため、より効率的で使い勝手のよい市販の公益法人用会計ソフトを平成28年度に導入したので、平成29年度より具体的な運用を開始する。

そのために、メンテナンス等の費用として15万円予算計上する。

以上